

春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会会議録 令和7年度第1回

会議概要	
日時	令和7年度5月20日（火曜日）午後6時30分から午後7時30分まで
場所	旭川市春光台公民館 講座室
出席者	委員（10名、50音順） 伊林委員、上森（茂）委員、上森（仲）委員、大久保委員、小原委員 菊地委員、早坂委員、福屋委員、横山委員 （欠席：佐藤委員、水野委員、宮上委員、山本委員、吉井委員） 事務局 春光台公民館：若林館長、藤村専門指導員、高橋事務職員 地域活動推進課：佐々木課長、木下主査
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会 委員名簿(令和7年度) 資料2 令和7年度春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会開催イメージ 資料3 春光台・鷹の巣地域 令和7年度活動計画 参考資料「まち協って何？」

議事の内容

1 開会

2 検討事項

1 春光台・鷹の巣まちづくりの検討と推進について

(1) 年間スケジュールについて(資料2) 資料2ページ

【事務局：春光台公民館若林館長】

※昨年度は、5月、12月、3月に会議を行ったが、第1回の会議から第2回の会議までの期間が長過ぎるとの意見あったことから、今年度は8月中旬に行われる地域食堂事業が終了した後の8月下旬にも会議を実施し、各事業の進捗状況等について確認・交流をしたいと考えている。

※資料4ページの春光台・鷹の巣地域のまちづくりの地域目標変更について、菊地会長とも検討した結果、今年度から目標を下記の内容に変更したいと考えているがいかがか。

笑顔と優しさに満ちあふれ みんなが安心して暮らせる春光台
～ ふるさと愛を育む、地域の絆づくり ～

(異議なし)

(2) 令和7年度5事業の活動について(資料3) 資料3ページ～33ページ

ア 子ども支援(見守り・声掛け)事業

【菊地会長】

※交通安全週間にあわせた登校時の街頭指導を年4回実施する予定である。

※第1回目の街頭指導は4月に終了したが、今年度は春光台地区の防犯部など、色々な団体の方々の協力が得られ、この状態が今後も続くことを願っている。

※登校時以外の時間帯にも街頭指導を実施することができないかについて検討をしている。6月に予定をしている実行委員会で小中学校のPTAの方々にも参加をしていただいで、協議できればと考えている。

※予算については20,000円を計上しており、街頭指導の黄旗、街頭指導に関わる物品、ポスター制作、印刷費として使用する予定である。

イ 春光台未来プロジェクト

【福屋委員】

※春に行われるゴミ拾いクリンゴの実施と小学生、中学生の取組から未来を考える未来プロジェクト会議の2つの事業を予定している。

※クリンゴの取組については5月17日に春光台中学校を会場に6チームに分かれて実施し、70名の方々に参加をいただいた。

※春光台中学校の生徒会や高台小学校の児童・教職員の皆さんにも参加をいただいた。

※ゴミが年々減少することを目標に実施しているが、今年は昨年度までの2倍以上の9,000gを超えるゴミが回収された。

※昨年度までの2倍を超えるゴミが回収されたことについては、高速道路の下などの普段あま

り行かない場所に足を延ばして実施したことや参加者が精力的に活動してくれたことが要因と考えられるが、ゴミの少ないまちづくりを推進するためには、まだ多くの課題があると考ええる。

※旭川市立大学栗田ゼミナールの学生さんにも協力をいただいているが、学生の皆さんにとってもよい経験になっていると聞いている。

※小学生・中学生の取組から春光台の未来を考える未来プロジェクト会議の取組については、11月の実施を予定している。

※予算については、チラシの印刷と配布の費用として107,000円を計上しているが、昨年とは別の方法での印刷、配布を検討しているので、支出を縮小することができるのではないかと考えている。

ウ 畑づくりプロジェクト推進事業

【小原副会長】

※高台小学校、春光台中学校の児童・生徒とその保護者、地域住民や農業経験者の方々に集まっていただく中で実施している。

※今年は6月の初めに苗やじゃがいもの植え付け、やぐらの設置を行い、8月中旬頃に秋大根の種まき、9月の中旬に収穫祭と学習会として郷土博物館を訪問、9月の下旬に魚釣り大会、10月中旬に大根の収穫、11月の中旬にヤーコンの収穫を行う予定である。

※収穫した野菜については、子ども食堂や地域食堂での食材としても活用していく予定である。

※地域のフラワーロードへの協力も進めていきたいと考えている。

※上記以外にも年間を通して、石拾いや草取り、水やりなどの作業を行っていく予定である。

※予算としては60,000円を計上している。

エ 春光台地域食堂事業

【福屋委員】

※春光台公民館を会場として、年4回の開催を予定している。

※予算としては180,000円を計上しており、食材費の他にマッサージなどのセルフケア等のイベントに係る講師への謝金などに支出する予定である。

※1回目の実施が迫っているが、昨年度末の会議でいただいたアドバイスを基に、多世代による縦割りのグループを編成することで、世代間の交流の機会が増えるようにしていきたい。

※あそびのコーナーでは、日本の伝統を生かした百人一首や地域の人材を活用した紙飛行機や科学のあそびを計画している。また、プラコップ積みが子どもたちからは大変人気である。

※8月の開催については、江口ゼミによるラーメンの提供ができないかを打診中である。

オ 送迎サービス事業

【菊地会長】

※前回の会議で実行委員を選出してから具体的な取り組みについて検討を進めていくことになったが、会議資料33ページに記載されている8名で実行委員会を結成した。

※委員長については、送迎サービス等に関する知識や積極的にこの事業に携わることのできる

- 人材が相応しいとの観点から、社会福祉法人北海道療育園の 宮上憲之 氏にお願いをした。
- ※会議資料 29 ページ～ 32 ページに示している実施計画、会則については、今後の実行委員会で内容を精査し、より理想に近づけていきたい。
- ※今年度は予算の計上がなされていないが、必要になれば、実行委員会に配分している予算で対応する。
- ※第 2 回のまち協会議では、具体的な取り組みについての提案ができるように準備していきたい。

(3) まち協って何？

【地域活動推進課】

- ※旭川市では、旭川市まちづくり基本条例に基づいて旭川市地域自治推進ビジョンが存在する。また、第 8 次旭川市総合計画でも、地域主体のまちづくりがうたわれている。
- ※これまでは、様々な団体がそれぞれの活動によって、住みよい地域づくりや住民の安全・安心な暮らしを支えてきたが、地域住民等が地域の課題を共有し、その解決に向けた方策を検討するとともに、相互に連携し協働しながら、地域特性を生かした個性ある多様なまちづくりを推進していくために地域まちづくり推進協議会が設置された。
- ※現代社会においては、少子高齢化、人口減少の進行、町内会・市民委員会等における役員の高齢化、担い手の不足、地域のつながりや人間関係の希薄化、住民ニーズや地域課題の多様化などの多くの課題が生じている。また、各地域によって、その特色や課題も様々であることから、市内一律の行政サービスの提供や一つの組織だけでは対応が困難な事案が増加していることから、様々な課題に対し、地域が自ら考え、活動できる仕組みが必要であるとの考えから、まちづくり推進協議会が設置されている。
- ※まちづくり推進協議会の役割としては、各地域で活動しているそれぞれの団体の横のつながりを作るために、地域を代表して話し合いの場をつくることにある。
- ※現在のまちづくり推進協議会は、旭川市の施策として誕生した旭川市主導の組織であり、旭川市の懇談会としての意見交換の場としての位置づけとなっている。
- ※まちづくり推進協議会で出された地域課題等を解決するためには、実行委員会を立ち上げる必要があり、実行委員会については、それらの課題解決に取り組んでいる既存の団体にお願いをする、または、まちづくり推進協議会の委員自らが地域課題解決のための実行委員会を組織して取り組むなどの方法がある。また、まちづくり推進協議会で話し合われた課題を解決するための取組が、旭川市の補助金を活用して適正に行われているかを確認するために、まちづくり推進協議会の委員が最低 1 名実行委員会の委員として活動に加わらなければならないとのルールが設けられている。
- ※旭川市における他地域の活動として、豊岡地区のあいあい、東光地区のオレンジカフェ、東光UDピクリンピック、北の散歩道環境保全事業など、まちづくり推進協議会の成果の一環ではないかと感じている。

3 その他

次回会議は、8月下旬頃を予定。

4 閉会